

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	21	安全でおいしい水道水を安定供給する	評価責任者 (基本施策主管課長)	水道部施設課長 坂本 忠久
-------	----	-------------------	---------------------	------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	快適
政 策	暮らしを支える生活環境の整ったまちづくり	

①

市民意識調査結果

満足度

3.3

2.55

2.86

3.86

4.86

1.0

必要度

②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果

市民意識調査によると、本基本施策の必要度は、平均よりやや低く、満足度は平均より高いということが分かる。
水道部では平成20年3月、「伊賀市水道事業基本計画」(地域水道ビジョン)～ひと・地域(まち)・未来を結ぶ輝く水道を目指しての策定にあたり、一般市民対象(1000人)にアンケート調査実施。この結果では、水道管、水源、浄水場、配水池など、施設の耐震化整備とともに、「おいしさ」・「サービス」・「広報活動」が特に望まれている。

③

基本施策の現状と課題

①東海・東南海・南海地震がいつ起きてもおかしくないといわれていることから、施設の地震対策を優先的に行う必要があること。
②本年4月伊賀市水道一元化に伴い管路整備の充実が必要であること。
③給水区域内における、未給水地域が点在していること。

④

基本施策の意図、今後の展望

伊賀市水道事業基本計画、短期期間(平成19年度～平成22年度)・中期期間(平成23年度～平成27年度)・長期期間(平成28年度～平成30年度)の目標での事業計画に伴い、課題解消のため施設整備を実施するとともに、安全・安心・安定な供給を図り有収率向上を目指す。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		重点化
安全・安心・安定な供給		施設の耐震化率の向上		1
〃		老朽管の更新延長		2
〃		有収率の向上		3

基本施策指標名

単位

過年度実績

評価年度

目標値

ベンチマーク

指標の説明

1	施設の耐震化率の向上	目 標	%	27	30	33	42	57	耐震管路延長/管路総延長
		実 績	%	26.1	29.8				
		達成率	%	96.7	99.3				
2	老朽管の更新延長	目 標	km	9.0	5.0	2.1	31.7	81.7	計画延長/施工延長
		実 績	km	8.0	4.6				
		達成率	%	88.9	92.0				
3	有収率の向上	目 標	%	83.7	84.2	84.9	86.0	87.5	名張市H21・88.9%
		実 績	%	83.0	82.3				
		達成率	%	99.2	97.7				
		目 標							
		実 績							
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				

⑥基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名				改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			重点化
担当課	ID	事業名			H21 決算額	H22 予算額	H23 所要額	
水道部 施設課		伊賀市水道広域化促進事業			182,800	487,500	871,800	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
(以下 続紙)								
事業費 合計					182,800	487,500	871,800	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	基本施策指標である、「安全・安心・安定な供給」に伴う事業について、平成21年度計画は目標値を達成し、本年度もほぼ達成できるものと考ええる。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	基本施策を進めるためには適切である。
3 役割分担の妥当性	市以外と役割分担はない。現在妥当である。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	平成20年3月策定の「伊賀市水道事業基本計画」(地域水道ビジョン)～ひと・地域(まち)・未来を結ぶ輝く水道をめざして～に基づき、「安全・安心・安定な供給」を図る事業を推進する。